

必修課目	課目名	関係法規・制度	授業方法	講義
------	-----	---------	------	----

履修学年	1学年	時間数	33時間	担当教員	嘉見隆義
------	-----	-----	------	------	------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容業（美容）に対する理美容師法による規制と行政による指導監督制度についての知識を深める。 ・法制度、衛生行政についての基礎的知識を深める。 ・社会における専門職としての理容（美容）師としての職業意識を高め、職業倫理を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学 期	第1章 法制度の概要	5	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における法の役割について学習する。 ・法の形式について学習する。 ・衛生法規の概要について学習する。 	
	第2章 衛生行政の概要	5	<ul style="list-style-type: none"> ・法と行政について学習する。 ・衛生行政の意義と歴史について学習する。 ・衛生行政の種類と衛生行政機関について学習する。 	
	期末試験	1		
2 学 期	第3章 理容師法・美容師法	12	<ul style="list-style-type: none"> ・理容（美容）師法の対象となる理容（美容）について学習する。 ・理容（美容）師養成制度、理容（美容）師免許制度及び管理理容（美容）師制度について学習する。 ・理容（美容）師の責務について学習する。 ・理容（美容）所について学習する。 ・理容（美容）の業に対する行政の指導監督制度について学習する。 ・理容（美容）師法違反の場合の反則について学習する。 	
	期末試験	1		
3 学 期	第4章 関連法規	8	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規について学習する。 	
	期末試験	1		
2 年	期末試験			

必修課目	課目名	衛生管理（公衆衛生・環境衛生）	授業方法	講義
------	-----	-----------------	------	----

履修学年	1学年	時間数	32時間	担当教員	鈴木 学 伊藤義浩 / 渡邊くるみ
------	-----	-----	------	------	----------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生の発展と歴史を理解し、その課題と理容（美容）業との関連とその役割についての知識を深める。 ・健康増進や疾病予防により公衆衛生の増進、健康の保持をはかるための予防医学についての基礎的知識を深める。 ・さまざまな環境要因が関与する中での理容（美容）業の役割と環境衛生についての基本的知識を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学 期	1 篇 公衆衛生 第1章 公衆衛生の概要	5	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生発展の歴史と具体的な課題と領域について学習する。 ・理容（美容）師と公衆衛生との関連、保健所と理容（美容）業の関連について学習する。 	
	第2章 保健	9	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健についての基礎知識を学ぶ。 ・成人・高齢者保健について学習する。 ・精神保健について学習する。 	
	期末試験	1		
2 学 期	2 編 環境衛生 第1章 環境衛生	14	<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生の概要について学習する。 ・空気感染を学習する。 ・衣服・住居の衛生について学習する。 ・上・下水道と廃棄物について学習する。 ・衛生害虫とネズミについて学習する。 ・環境保全について学習する。 	
	期末試験	1		
3 学 期				
2 年	期末試験	2		

必修課目	課目名	衛生管理（感染症）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	32時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩 渡邊くるみ
------	-------	-----	------	------	----------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症についての知識のうち、とりわけ予防接種の効果、感染症の予防対策についての知識を深める。 ・感染症を「法律上」「進入門戸別」病原体別」に分け、具体的な内容を理解し覚える。
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	3篇 感染症 第1章 感染症の総論	16	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の種類、構造、成分などそれぞれの特徴をとらえ、増殖と環境への影響について学習する。 ・人体の免疫や予防接種での抵抗力について学習する。 ・感染症を「法律上」「進入門戸別」病原体別」に分け、具体的な内容を理解し覚える。 ・感染症にかからないために講じる対策法を学習する。 	
	期末試験	1		
1年2学期	第2章 感染症の各論	12	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な感染症について、病原体、感染源、感染経路、症状、予防対策などを学習する。 ・感染症拡大を予防するための方策について十分理解する。 	
	期末試験	1		
1年3学期	期末試験	1		
2年	期末試験	1		

必修課目	課目名	衛生管理（衛生管理技術）	授業方法	講義
------	-----	--------------	------	----

履修学年	2年	時間数	32時間	担当教員	嘉見隆義 / 渡邊くるみ 鈴木 学 / 伊藤義浩
------	----	-----	------	------	-----------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「消毒」は、不特定多数の人と接し、体に直接触れる理容師、美容師にとって必要不可欠な作業であることを理解する。 ・「消毒とは何か」という基本概念をしっかりと覚える。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1学期	4編 衛生管理技術 第1章 消毒法総論	12	<ul style="list-style-type: none"> ・「消毒とは何か」という基本概念や関係法規を学習したうえで、理学的消毒法・化学的消毒法の種類と特徴及び消毒法に対しての微生物の抵抗性について学習する。 ・消毒薬の取り扱いについて学習する。 	
	期末試験	1		
2学期	第2章 消毒法各論	8	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒薬の長所・短所について把握し、理容所、美容所での器具や布片類をはじめとする設備に対しての適切な消毒薬を学習する。 ・適切な消毒薬が効果的に作用する温度や時間や希釈方法について学習する。 	消毒薬の希釈の実際
	第3章 消毒法実習	10	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒薬を希釈する場合の濃度計算法や、器具の取扱いなどについて学習する。 ・消毒薬を常に正しく、希望する濃度に希釈できるように学習する。 	
	期末試験	1		
3学期				

必修課目	課目名	保健（人体の構造および機能）	授業方法	講義
------	-----	----------------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	43時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩
------	-------	-----	------	------	-------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容師、美容師として頭や顔及び身体的健康について正しく理解し、解剖学と生理学に関する具体的な知識を深める。 ・人体の解剖学的名称を理解したうえで、各系統についての知識を深める。 ・環境と生体について、保健を阻害する外的要因に対する防御機能についての知識を深める。
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年3学期	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	5	・人体各部の名称と頭部、顔部、頸部の体表解剖学について学習する。	人体の構造パネルの活用
	第2章 骨格機能	5	・骨の種類と構造及び、骨格器系とそのはたらきについて学習する。	
	第3章 筋系	2	・筋の種類とその特徴と主な骨格筋とそのはたらきについて学習する。	
	期末試験	1		
2年1学期	第3章 筋系	2	・筋の種類とその特徴と主な骨格筋とそのはたらきについて学習する。	
	第4章 神経系	5	・神経系の成り立ちとそれぞれの神経についてのはたらきを学習する。	
	第5章 感覚器系	5	・感覚器系が、情報を集める器官であることを理解し、その機能について学習する。	
	期末試験	1		
2年2学期	第6章 循環器系	6	・血液循環の仕組みについて学び、心臓と血管、リンパ管系のはたらきを正しく学習する。	
	第7章 呼吸器系	5	・呼吸系のあらましについて学び、肺の仕組みと呼吸運動について学習する。	
	第8章 消化器系	5	・消化管と消化腺のはたらきと消化器系の保健について学習する。	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	保健（皮膚科学）	授業方法	講義
------	-----	----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	54時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩
------	-------	-----	------	------	-------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚及び皮膚付属器官それぞれの構造・機能・保健についての知識を深める。 ・皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する知識を深める。 ・皮膚と皮膚付属器官の疾患に関する、症状とその原因及び予防や治療についての知識を深める。
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年2学期	第1章 皮膚の構造	4	・皮膚を単なる1枚の薄い皮のように考えがちであるが、非常に複雑な機能をもつ、しかも体中でもっとも大きな器官であることを学習する。	
	第2章 皮膚付属器官の構造	5	・脂腺・汗腺・毛・爪が皮膚の付属器官として表皮が変化したものであるということを学習する。	
	第3章 皮膚の循環系と神経系	2	・皮膚が正常なはたらきを保つための血管やリンパ管のはたらきを学習する。	
	第4章 皮膚と付属器官の生理機能	9	・皮膚の外界からの刺激に対するそれぞれの機能について身体内部のはたらきと結び付けて学習する。	
	期末試験	1		
3学期	第5章 皮膚と付属器官の保健	12	・皮膚は、絶えず外界からいろいろな影響を受けている。その変化と体の内部の健康状態とケアについて学習する。	
	期末試験	1		
2年1学期	第6章 皮膚と付属器官の疾患	18	・正常な皮膚の状態が崩れた場合の皮膚疾患について学習する。	
	期末試験	1		
2学期	期末試験	1		

必修課目	課目名	化粧品化学	授業方法	講義
------	-----	-------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	64時間	担当教員	宮崎廣光／正時佐知恵 中島彰宏
------	-------	-----	------	------	--------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品化学の概念、美容の施術を行う上で必要な基本的知識を習得する。 ・化粧品の正しい使用法、誤った使用法・管理方法で発生するトラブル等の総合的判断の知識を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点(60点)を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	第1章 化粧品概論	12	・化粧品の定義、その種類や機能、諸規制について学習する。	
	期末試験	1		
2学期	第2章 化粧品用原料	18	・化粧品の原料について、それぞれ、水性・油性原料、界面活性剤などの配合成分について学習する。	
	期末試験	1		
3学期	第3章 基礎化粧品	6	・石けん等皮膚洗浄用化粧品、化粧水、クリーム、乳液、その他の基礎化粧品について学習する。	
	第4章 メイクアップ用化粧品	6	・メイクアップ化粧品の種類と剤形、ベースメイクアップ化粧品、ポイントメイクアップ化粧品について学習する。	
	期末試験	1		
2年1学期	第5章 頭皮・毛髪用化粧品	14	・シャンプー剤、スタイリング剤、パーマネントウェーブ用剤、カラーリング剤、育毛剤について学習する。	
	第6章 芳香製品と特殊化粧品	4	・香水、オーデコロンなどの芳香製品、サンケア製品などの特殊化粧品について学習する。	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	運営管理	授業方法	講義
------	-----	------	------	----

履修学年	2年	時間数	32時間	担当教員	中島彰宏 / 伊藤義浩
------	----	-----	------	------	-------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 接客の役割と基本的要素を理解し、行動できるようにする。 就職するうえでの心構えや経営に参画する意味や、働くうえでの義務、権利をきちんと理解する。 健康上の問題など、適切な職場環境を保持していくことの重要性について理解する。
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点(60点)を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
2年1学期	第1編 経営者の視点			
	第1章 経営とは・経営者とは	2	<ul style="list-style-type: none"> 経営とは何かを理解し、その役割と課題について学習する。 経営戦略を立案する基本的な流れを学習する。 	
	第2章 理容業・美容業の経営について	2	<ul style="list-style-type: none"> 業界の概要や変化、理容・美容のサービス業としての役割を理解する。 	
	第3章 資金の管理	3	<ul style="list-style-type: none"> 会計の基本的な考え方、仕組みについて学習する。 	
	第2編 人という資源 従業員としての視点			
	第1章 人という資源	2		
	第2章 健康・安全な職場環境の実現	2	<ul style="list-style-type: none"> 労務管理の役割について学習する。 社会の変化と労働の関係について学習する。 	
第3章 従業員としての視点から	3	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理の意義と健康診断について学習する。 理美容師に多い健康上の問題を取り上げ、どのような症状が出るのか、また、その場合の対応について学習する。 キャリアプランの重要性と社会人としての義務・責任について学習する。 		
	期末試験	1		
2学期	第3編 顧客のために			
	第1章 サービス・デザイン	4	<ul style="list-style-type: none"> 「価値とは何か」ということについて学習する。 	
	第2章 マーケティング	5	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングについて学習する。 対象市場(ターゲット)について学習する。 インターフェイスとお客様との対話について学習する。 	
	第3章 サービスにおける人の役割	5	<ul style="list-style-type: none"> 接客の基本的要素について学習する。 計画の必要性和、接客の流れとそのポイントについて学習する。 	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	文化論（１）	授業方法	講義
------	-----	--------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	63時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩 池野美香
------	-------	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行についての知識を深める。 ・流行のメカニズムを知り、時代を読みデザインを起こすための知識を身につける。 ・ヘアスタイル、服装などとのトータルバランス及び造形・色彩の原理を学び、感性を高める。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年 2学期	第1章 総論	7	・理容・美容との関わりが深い顔、化粧、髪について、一步踏み込んで学習する。	
	第2章 日本の理容業・美容業の歴史	6	・理容業の歴史をもとに、理容師、美容師がその発生以来、各時代の装いの文化の担い手として重要な役割を果たしてきたことを学習する。	
	第3章 ファッション文化史・日本編	11	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文・弥生・古墳時代について学習する。 ・古代（飛鳥・奈良・平安時代前期）について学習する。 ・中世（平安時代中期・鎌倉・室町時代）について学習する。 	
	期末試験	1		
3学期		14	<ul style="list-style-type: none"> ・近世前期（戦国・安土桃山・江戸時代前期）について学習する。 ・近世後期（江戸時代中・後期）について学習する。 ・近代について学習する。 ・現代（1945年代～）について学習する。 	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	文化論（２）	授業方法	講義
------	-----	--------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	63時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩 池野美香
------	-------	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行についての知識を深める。 ・流行のメカニズムを知り、時代を読みデザインを起こすための知識を身につける。 ・ヘアスタイル、服装などとのトータルバランス及び造形・色彩の原理を学び、感性を高める。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
2年1学期	第4章 ファッション文化史・西洋編	20	<ul style="list-style-type: none"> ・古代エジプトについて学習する。 ・古代ギリシャ・ローマについて学習する。 ・古代ゲルマンについて学習する。 ・中世ヨーロッパについて学習する。 ・近世（16世紀～18世紀）について学習する。 ・近代（18世紀末～19世紀初め）について学習する。 	
	第5章 礼装の種類	2	<ul style="list-style-type: none"> ・近代（19世紀）について学習する。 ・現代（1910年代～）について学習する。 ・和装と洋装の礼装について学習する。 	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	理容技術理論（１）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	-------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・理容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	第1章 理容技術の基礎	6	<ul style="list-style-type: none"> ・人体各部の名称、理容技術における技術姿勢について学習する。 ・理容技術についてのトレーニング方法について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング方法の実際
	第2章 理容用具	14	<ul style="list-style-type: none"> ・理容で使用する様々な用具について、名称、種類、特徴や機能と形態について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の用具を使用
	第3章 ヘアデザイン	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアスタイルをデザインするための造形の基本について学習する。 ・ヘアスタイルの意義と種類、ファッションについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション誌などのヘアスタイルを活用
	第4章 ヘアカットイング	18	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーズとコームの持ち方、合同操作について学習する。 ・ヘアカットイングの基本原則について学習する。 ・スタンダードヘアの概要及びカット方法について学習する。 ・デザインヘアのカットシステムについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグを使用しての解説と実際
	第5章 ヘアセッティング	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアセッティングの種類について学習する。 ・基本セット・ドライヤーセット等、ヘアセッティングの実際。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグを使用しての解説と実際

必修課目	課目名	理容技術理論（２）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	-------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・理容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	第6章 パーマネントセット	14	<ul style="list-style-type: none"> ・パーマネントウェーブの原理とその用剤及び種類と特徴について学習する。 ・パーマネントウェーブ及びワインディングのプロセスについて学習する。 ・ワインディングにおける知識とその実践。 ・アイアニングの基礎知識とその実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグを使用しての解説と実際
	期末試験	1		
1年2学期	第7章 ヘアカラーリング	9	<ul style="list-style-type: none"> ・染毛剤の種類と原理及びブリーチ剤の原理について学習する。 ・おしゃれ染め、白髪染めの実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグを使用し解説と実際
	第8章 シェービング	11	<ul style="list-style-type: none"> ・シェービングの基本技術と要領を学習する。 ・レーザーの持ち方と運行順序について学習する。 ・シェービングのプロセスについて学習する。 ・シェービング技術及び清拭法の実践。 ・レディースシェービングのプロセスとその実践。 	ソイ
	第9章 理容エステティック	13	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアに関する基礎について学習する。 ・フェイシャルマッサージのプロセスとその実践 ・ハンドケアの目的と爪の構造について学習する。 ・ネイルケアの順序と実践。 ・ハンド&アームマッサージの順序と実践 ・フットケアの基礎について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグ及び相モデル

必修課目	課目名	理容技術理論（3）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	-------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・理容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年2学期	第10章 理容クリニック	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアクリニックのカウンセリングについて学習する。 ・ヘアチェック（毛髪診断）とスカルプチェック（頭皮診断）について学習する 	
	期末試験	1		
1年3学期	第11章 シャンプーイング & リンシング	6	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプーイングの目的とシャンプー剤の種類と特徴について学習する。 ・シャンプーイングの方法と技法を学習する。 	・ウィッグ及び相モデル
	期末試験	1		
2年1学期	第12章 理容マッサージ	6	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージの意義と効果について学習する。 ・ヘッドマッサージの順序と実践 	・ウィッグ及び相モデル
	期末試験	1		
2年2学期	第13章 ヘアトリートメント	3	・ヘアトリートメントの種類と技術プロセスについて学習する。	
	第14章 スカルプトリートメント	3	・スカルプトリートメントの種類と技術プロセスについて学習する。	
	期末試験	1		
2年3学期	総復習	30		

必修課目	課目名	美容技術理論（１）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	-------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	3	・人体各部の名称、美容技術における作業姿勢について学習する。	・実際の用具を使用
	第1章 美容用具	7	・美容で使用する様々な用具について、名称、種類、特徴や機能と形態について学習する。	
	第2章 シャンプーイング	10	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプーイングの目的とシャンプー剤の種類と特徴について学習する。 ・シャンプーイングの方法と技法について学習する。 ・サイドシャンプーの順序と実践。 ・バックシャンプーの順序と実践。 ・リンス、コンディショナー、トリートメントの成分について学習する。 ・スカルプトリートメント及びマッサージの目的と技法について学習する。リンシングの順序と実践。 	
	第3章 ヘアデザイン	7	・美容とデザインについて学習する。	
	第4章 ヘアカットイング	13	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーズとコーム・レザーの持ち方、連携動作について学習する。 ・ヘアカットイングの基礎理論について学習する。 ・シザーズとレザーによるカット技法について学習する。 	

必修課目	課目名	美容技術理論（２）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	-------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	第5章 パーマネントウェーブ ビング	10	<ul style="list-style-type: none"> ・パーマネントウェーブの歴史について学習する。 ・パーマネントウェーブの理論とパーマ剤の分類と注意事項について学習する。 ・パーマネントウェーブ及びワインディングのプロセスについて学習する。 ・ワインディングにおける知識とその実践。 	
	第6章 ヘアセッティング	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアセッティングの構成と要素について学習する。 ・ヘアパーティングとヘアシェーピングの知識と実践。 ・ヘアカーリングの知識と実践。 ・ローラーカーリングの知識と実践。 ・ヘアウエーブの知識と実践。 ・ブロードライの知識と実践。 ・アイロンセッティングの知識と実践。 ・バックコーミング・アップスタイルの知識と実践。 ・ウィッグとヘアピースについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグを使用するの解説と実際 ・ウィッグを使用するの解説と実際
	期末試験	1		
1年2学期	第7章 ヘアカラーリング	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアカラーの種類について学習する。 ・ヘアカラーのタイプ別特徴について学習する。 ・染毛のメカニズムについて学習する。 	

必修課目	課目名	美容技術理論（3）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	-------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年2学期	第7章 ヘアカラーリング		<ul style="list-style-type: none"> ・染毛剤使用時の注意事項について学習する。 ・ヘアカラーリング及びヘアブリーチの実際。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグを使用しての解説と実際 ・ウィッグを使用しての解説
	第8章 エステティック	9	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティックの目的と皮膚の構造について学習する。 ・カウンセリングの方法について学習する。 ・フェイシャルケア技術について学習する。 ・フェイシャル及びデコルテマッサージについて学習する。 	
	第9章 ネイル技術	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイル技術の種類について学習する。 ・爪の構造と機能について学習する。 ・ネイルケア及びネイル技術の手順について学習する。 ・アーティフィシャルネイルの手順について学習する。 ・ハンドマッサージの手順について学習する。 ・顔の形態学的な観察について学習する。 	
	第10章 メイクアップ	11	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアについて学習する。 ・ベースメイクアップについて学習する。 ・アイメイクアップについて学習する。 ・アイブロウメイクアップについて学習する。 	

必修課目	課目名	美容技術理論（４）	授業方法	講義/演習
------	-----	-----------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	-------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。 ・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。 ・各技術の理論を完全に理解する。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。 ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年2学期	第10章 メイクアップ		<ul style="list-style-type: none"> ・リップメイクアップについて学習する。 ・ブラッシュオンメイクアップについて学習する。 	
	期末試験	1		
1年3学期	第11章 日本髪	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日本髪の各部の名称と日本髪の種類と特徴について学習する。 ・日本髪の装飾品と結髪道具及び結髪技術について学習する。 ・かつらの扱い方について学習する。 	
	期末試験	1		
2年1学期	第12章 着付けの理論と技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ・着物、帯、小物の種類について学習する。 ・着物の各部の名称及びたたみ方について学習する。 	・着物を使用したの解説と実際
	期末試験	1		
2年2学期	第12章 着付けの理論と技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ・着付けの一般的要領について学習する。 	
	期末試験	1		
2年3学期	総復習	30		

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 理容実習（1）	授業方法	実習/実技
------	-----	--------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	---------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・理容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
通年	1. くせ直し	15	<ul style="list-style-type: none"> ・くせ直しの順序と方法 ・毛髪の濡らし方 ・スチームタオルの取り扱い ・反復練習 	
	2. 分髪・整髪	20	<ul style="list-style-type: none"> ・コームの持ち方と姿勢 ・分髪の方法 ・整髪の順序及び整髪料の塗布の方法 ・反復練習 	
	3. マッサージ	35	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドマッサージの順序と技法 ・ヘアトニックの塗布方法 ・クリニックマッサージの順序と方法 ・反復練習 	
	4. シャンプーイング	140	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンド・シャンプーの順序と方法 ・リンシングの順序とシャワーの取り扱い ・バック・シャンプーの順序と方法 ・リンシングの順序とシャワーの取り扱い ・リアシャンプーの順序と方法 ・リンシングの順序とシャワーの取り扱い ・反復練習 	
	5. パーマネントウェービング	130	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッキングの方法 ・ワインディングの方法 ・ロッドの配列 (基本巻き・Cライン・レンガ巻き) ・反復練習 	

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 理容実習（２）	授業方法	実習/実技
------	-----	--------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	---------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・理容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
通年	6. ヘアカッティング	240	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーズとコームの持ち方及び合同操作 ・直上線カットの方法 ・デザインカット <ul style="list-style-type: none"> ワンレングス・グラデーション スクエア・レイヤーカット ・スタンダードヘア（基礎） <ul style="list-style-type: none"> すくい刈・連続刈・指間刈・固定刈 まわし刈・直鋏・セニング・クリッパー ・スタンダードヘア（スタイル） <ul style="list-style-type: none"> ミディアムヘア・ハーフロング ブロース・丸刈 	
	7. ヘアセッティング	70	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ブラシの持ち方とドライヤーとの基本操作 ・メンズヘアのスタイリング <ul style="list-style-type: none"> 7：3パートのドライヤーセット オールバックのドライヤーセット スタイリング剤の使用方法 ・レディースのスタイリング <ul style="list-style-type: none"> ワインレングスのブロー方法 グラデーションのブロー方法 スタイリング剤の使用方法 ・カールアイロンによるスタイリング ・反復練習 	

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 理容実習 (3)	授業方法	実習/実技
------	-----	---------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	---------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・理容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
通年	8. シェービング	140	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザーの持ち方と操作方法 ・レーザーリング及びスチーミングの方法 ・ネック及び顔面の清拭方法 ・添え手の方法 ・ワシシェービングの順序と運行及び姿勢 ・乳液塗布法及び乳液マッサージの要領 ・ドライタオルでの拭取り方法 ・ツーシェービングの順序と運行及び姿勢 ・レディースシェービングのプロセス ・反復練習 	
	9. 顔面処理	30	<ul style="list-style-type: none"> ・各部位の清拭方法 ・クリーム・乳液の塗布方法及び要領 ・スチームタオル及びドライタオル清拭法 ・乳液マッサージの順序と要領 ・ドライタオルでの拭取り方法 ・反復練習 	
	10. ヘアカラーリング	40	<ul style="list-style-type: none"> ・染毛剤の調合方法 ・ハケの使い方と塗布方法 ・おしゃれ染め及び白髪染めの塗布方法 ・ブリーチの方法 ・リタッチの塗布方法 ・その他の技法 ・反復練習 	

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 理容実習 (4)	授業方法	実習/実技
------	-----	---------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	森岡洸哉 / 中西健太 伊藤義浩
------	-------	-----	---------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・理容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
通年	1 1. アイロン技術	40	<ul style="list-style-type: none"> ・平アイロンの持ち方と操作方法 ・平アイロンとコームの合同操作 ・毛髪の矯正と曲げ方 ・7：3分髪スタイル ・オールバックスタイル ・丸アイロンの持ち方と操作方法 ・丸アイロンとコームの合同操作 ・毛髪のカールの作り方と配列 ・反復練習 	
	1 2. フェイシャルマッサージ	30	<ul style="list-style-type: none"> ・クリームの塗布と順序 ・マッサージの順序と方法 ・スチームタオル及びドライタオル清拭法 ・クレンジングの方法 ・スポンジチーフの拭取り順序 ・エステティック機材の取扱い方法 ・反復練習 	
	1 3. 国家試験テーマ	106	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験実技試験の流れと対策 ・ミディアムカットの総合仕上げと時間短縮 ・セニングカットでの仕上げ方法 ・ワンシェービングの総合仕上げと時間短縮 ・分髪・整髪の仕上げとワックスの塗布法 ・反復練習 	
	1 4. 着付け	10	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣の名称とたたみ方 ・帯の締め方、浴衣の着付け方、反復練習 	

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 美容実習（1）	授業方法	実習/実技
------	-----	--------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	---------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・美容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
通年	1. シャンプーイング 1	70	<ul style="list-style-type: none"> ・クロス掛け ・ブラッシング ・サイドシャンプー（すすぎ） ・サイドシャンプー（シャンプーイング） ・サイドシャンプー（リンス） ・サイドシャンプー (タオルドライとターバン) ・スカルプトリートメント ・反復練習 	
	2. シャンプーイング 2	60	<ul style="list-style-type: none"> ・バックシャンプー（すすぎ） ・バックシャンプー（シャンプーイング） ・バックシャンプー（リンス） ・バックシャンプー (タオルドライとターバン) ・ヘアトリートメント ・反復練習 	
	3. ヘアカットイング	140	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーズの扱い方 ・ヘアカットイングの正しい姿勢 ・ブロッキング ・ベーシックなカット技法 ・シザーズによるカット技法 (ワンレングス) ・シザーズによるカット技法 (グラデーションカット) ・シザーズによるカット技法 (レイヤーカット) ・シザーズによるカット技法 (セიმレングスカット) 	

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 美容実習（２）	授業方法	実習/実技
------	-----	--------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	---------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・美容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
通年	3. ヘアカット		<ul style="list-style-type: none"> ・レザーカット ・反復練習 	
	4. パーマネント ウェービング	200	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッキング ・ワインディング（オールパーパス） ・ワインディングのバリエーション ・パーマネントウェーブの実際 （2浴式・コールドタイプ） ・パーマネントウェーブの実際 （縮毛矯正） ・反復練習 	
	5. ヘアセッティング	110	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアカーリング ・ヘアウェービング ・オリジナルセット ・反復練習 	
		10	<ul style="list-style-type: none"> ・ローラーカーリングの基礎 ・反復練習 	
		40	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロードライスタイリング ・アイロンセッティング ・反復練習 	
		40	<ul style="list-style-type: none"> ・アップスタイル ・反復練習 	

必修課目	課目名	「実務経験による授業科目」 美容実習（3）	授業方法	実習/実技
------	-----	--------------------------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	1,046時間	担当教員	中島彰宏/池野美香/渡邊くるみ 佐藤香織/小須田美裕
------	-------	-----	---------	------	-------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 ・各技術の基本的操作を確実に身につける。 ・美容の各技術にともなう器具の消毒など、適切な実施方法を身につける。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験結果70% + 授業態度30% Eランクの場合、再試験を行う。 5段階評価 A～D=合格 E=不合格

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
	6. ヘアカラーリング	50	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化染毛剤（アルカリ性タイプカラー） 技術—全体を明るくする ・酸化染毛剤（アルカリ性タイプカラー） 技術—全体を暗くする ・酸性染毛料の技術 ・ヘアブリーチ、スライシング技術 ・ウィービング、ホイルワーク技術 	
	7. エステティック	40	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルマッサージ クレンジング マッサージオイルをのばす フェイシャルマッサージ スチームタオル 	
	8. メイクアップ	50	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケア ・ベースメイクアップ ・アイメイクアップ ・アイブロウメイクアップ ・リップメイクアップ ・ブラッシュオンメイクアップ 	
	9. メイクアップ	12	<ul style="list-style-type: none"> ・各業界で有名な講師を学校に招き、講演や技術指導を行う。 ・講演から自分の将来の目標を設定したり、気持ちを高めるきっかけとする。 	
	10. 国家試験課題	224	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の理解、評価の指導 ・衛生措置の指導確認 ・リハーサル 	